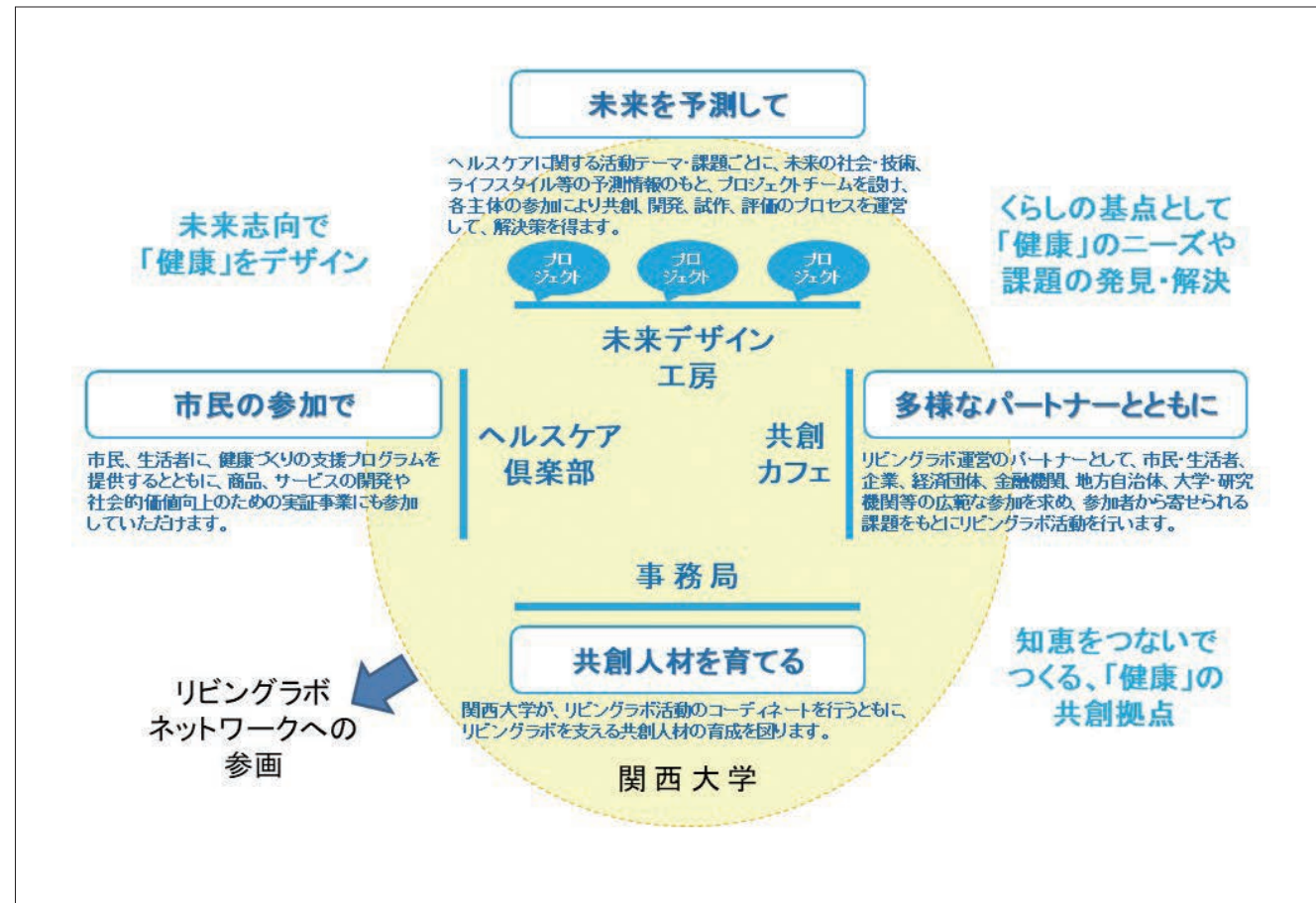


# 関西大学リビングラボ



#共創 #健康まちづくり #リビングラボ

## 目的

オープンイノベーションの仕組みを活かして新たな商品、サービス、政策などの社会的価値を創出し、オープンイノベーションの拠点創出による産学官民の連携機会の拡大を目指す

## 活動の概要

- **主な連携先**  
吹田市／摂津市／国立循環器病研究センター／医薬基盤・健康・栄養研究所やパートナー協議会参加団体・企業
- **活動地域**  
大阪府吹田市・摂津市(北大阪健康医療都市【健都】)／大阪府内各所
- **活動期間**  
2019年度～継続中
- **活動資金**  
パートナー協議会参加会費 他

## 連携にいたる経緯

国立循環器病研究センターと関西大学との包括連携協定締結を契機に、健康まちづくりのための研究開発、成果の社会実装を行っており、北大阪健康医療都市を活動の出発点としつつ、幅広い課題に産学官民が取組む拠点として2019年度に設置し運営する。



## 活動内容

関西大学リビングラボは、市民・生活者を中心に、企業や地方自治体、大学や研究機関が連携する共創の場であり、新たな商品やサービスの開発、地域課題の解決に向けた取組みを行うオープンイノベーションシステムである。これを円滑に進めるため、共創カフェ、未来デザイン工房、ヘルスケア倶楽部で構成する。

### [共創カフェ]

市民・生活者、企業、経済団体、金融機関、地方自治体、大学・研究機関等の広範な参加を得て、「共創カフェ」を主催し、ヘルスケアについての潜在的なニーズや課題の発見、課題解決のデザイン、共創メンバーを見つける。

### [未来デザイン工房]

ヘルスケアに関する活動テーマ・課題ごとにプロジェクトチームを設け、未来の社会・技術、ライフスタイル等の予測情報のもと、共創、開発、試作、評価のプロセスを運営して、解決策を得る。

### [ヘルスケア倶楽部]

市民・生活者の参加により、健康づくりの支援プログラムを提供し、参加者の協力により、商品やサービスの開発などの社会的価値向上のための実証事業に取組む。

## 活動の成果

- リビングラボ運営による、[共創カフェ]におけるウェルビーイングを高める共創の取組みに向けた実践
- 産官学民が参画する共創機会におけるコーディネーション、価値創造ツール開発研究

## 今後の課題・目標・展開の可能性

- 共創の取組みテーマのプロジェクト化および解決策の提示
- リビングラボネットワークの構築と共創手法の実践的改善プロセスの研究

環境都市工学部 教授 北詰 恵一 Kitazume Keiichi



専門は、社会基盤の費用便益分析、土地利用・交通モデルの開発、公共事業評価、地域再生のあり方などを研究し、公民連携に関わる活動をしている。「健康と環境の好循環」を構築するための研究における影響・効果計測、モデル開発、行動変容促進を手掛け、それを実践して効果を高めるための社会システムの構築を目指す。



## 連携先からの一言

利用者・市民主体のオープンイノベーションにふさわしい研究開発や地域政策があれば、リビングラボの取組みによって新しい価値を追求してみたいと思います。

(共創カフェ参加者)